

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和3 年度)

施策コード	412		施策名	道路ネットワークと交通環境の整備
将来像	4	豊かな自然と調和した住みやすく活気あるまち(「基盤づくり」の分野)		
まちづくりの基本目標	41	快適で住みやすいまち		
担当部	都市整備部		担当課	道路交通課

2. 施策の方向

10年後の姿	快適で安全な都市基盤となる道路の整備と、鉄道やバスなどの交通環境の向上が図られ、誰もが市内外を快適・安全に移動しています。			
施策の方向性	1	快適で安全な道路環境をつくります		
	2	快適で安全な交通環境をつくります		
	3	交通安全意識の普及・啓発を推進します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和3年度決算額
計画行財政推進事業	2	未来創造課	5,438
交通安全事業	1	道路交通課	1,559
コミュニティバス事業	2	道路交通課	28,033
道路維持補修事業	1	道路交通課	82,725
道路整備事業	1	道路交通課	120,318
道路用地購入事業	1	都市計画課	3,012
交通安全施設整備事業	1	道路交通課	5,399
地下駐輪場運営管理事業	2	道路交通課	11,070
有料駐輪場運営管理事業	2	道路交通課	13,307
都市計画街路事業	1	都市計画課	18,813
都市計画街路整備事業	1	道路交通課	6,380
総事業費(施策の合計)			296,054

4. まちづくり指標

指標情報				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	周囲の道路を安心して通行することができると思う人の割合		目標値	36.0	36.0	36.0	39.4	40.0
	説明	—	単位 %	実績値	37.6	37.6(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	104.4%	104.4%			
②	名称	市内の道路は車がスムーズに移動できていると思う人の割合		目標値	38.0	38.0	38.0	42.5	43.0
	説明	—	単位 %	実績値	41.0	41.0(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	107.9%	107.9%			
③	名称	交通ルールやマナーを守っている人の割合		目標値	88.0	88.0	88.0	94.7	95.0
	説明	—	単位 %	実績値	93.8	93.8(※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	106.6%	106.6%			

※①②③抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和3年度実績に対する)

評価基準		評価※	評価理由
投入財源・成果 (「3. 構成事業 の状況」「4. ま ちづくり指標」 に対する評価)	総合評価 (成果、投入財源 等を総合的に評 価)	維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全ての構成事業において、道路ネットワークと交通環境の整備の施策の方向性を達成するための手段として寄与しており、交通環境の向上や、安全性を高めることにつながっている。</li> <li>●都市計画道路の整備については、用地の取得を進め、安全で、機能的な幹線道路のネットワーク整備に向けて着実に進捗している。</li> <li>●その他の市道の整備や補修、安全化の向上についても優先順位を付けながら計画的に取り組んでいるほか、開発指導により安全性と円滑性など生活環境に配慮した生活道路の整備を誘導している。しかし、道路の劣化による大型車両の通行時の振動や騒音、交通量が多い道路への自転車レーンの整備などの課題に十分に対応できていない。</li> <li>●交通不便地域の解消に向けたコミュニティバス事業は利用者から評価されているが、市北部地域の一部には公共交通へのアクセスに課題があり、対応が求められている。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和3年度からの 変更点	環境問題への意識及び健康志向の高まりを背景に自転車利用のニーズが高まっており、交通安全意識の啓発や自転車走行レーン等の整備の必要性が強くなっている。また、都市計画道路については、自転車レーンの設置は、必須となっている。
-----------------	---

7. 施策を進める上での課題

①	<p>施策を進める上での課題 安全で機能性の高い幹線道路と、安全で快適性の高い生活道路の整備が求められている。</p> <p>課題に対する令和5年度以降の取組 けやき通りの舗装打換工事や市道0106号線の無電柱化に向けた企業の引連工事をするともに道路整備や都市計画道路の用地取得・基本設計業務を行う。橋梁については、関越自動車道に架かる旭が丘橋及びはげ橋の補修工事並びに清柳橋の架替工事を引き続き実施する。また、道路の劣化による、幹線道路の沿道住民からの振動及び騒音の苦情に対応するため、適宜、補修を実施する。</p>
②	<p>施策を進める上での課題 清瀬駅北口周辺の安全かつ円滑な交通環境の維持及び、駅周辺の活性化を図るため設置しているクリア市営駐車場について、ライフサイクルコストを縮減しながら長寿命化を図る必要がある。</p> <p>課題に対する令和5年度以降の取組 北口再々開発も含め円滑な交通環境の維持・整備を図るとともに、クリア市営駐車場については、令和4年度から3か年計画で、工事費の平準化を図りながら計画的に工事を実施する。</p>
③	<p>施策を進める上での課題 都市高速鉄道12号線延伸促進の取組みについては、事業スキームの問題など検討の熟度を高める必要がある。</p> <p>課題に対する令和5年度以降の取組 引き続き、整理した課題の検討を進める必要がある。</p>